

yamabuki 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No. 2 2

平成19年6月18日
情報教育アドバイザー
広田 さち子

Shiftキー

Shiftキーも、Tabキーと並んで、便利なキーですが、使われていないキーの代表でもあります。

Shiftキーは、大文字のアルファベットを入力したり、数字キーなどの上段に書かれている記号を入力するのに使うことは、ほとんどの人がご存じです。

元々タイプライターでの使い方は、このとおりでした。

パソコンでは、このキーはとても多彩な面を持っています。

まず、「きちんとした」操作ができる、ということです。

「きちんとした」というのはどういうことかと言えば、操作の際このキーを押した状態だと、☆たて横比が固定、☆水平・垂直、になります。移動や、拡大縮小、図形の作成などで活躍します。図形の作成では、まん丸や正方形などを作ることができます。

つぎに、「連続選択」です。はじめの箇所をクリックして、最後の箇所でShiftキーを押したままクリックすると、初めから最後までドラッグで選択したのと同じです。文字列だったり、エクセルのセルだったり、フォルダの中のファイルの並びだったり、なんでも使えます。

もう一つは、「選択」です。キーボードの矢印キーや Endキー、Homeキーなどで操作位置を移動する操作に Shiftキーを加えると、移動した分の選択になります。(Shift + End など)これは、文字列だけではありません。今いる位置からドラッグしたのと同じであることは、「連続選択」と同じです。

そして、「逆さま」です。エクセルで、入力したあとにEnterキーを押すと、セルポインタ(四角く目印の付いたセル:入力対象)は、すぐ下のセルに移動しますが、Shift+Enter だと、一つ上に移動します。インターネットの画面で、スペースキーを押すと画面スクロールで下に行きますが(別稿で詳しく説明予定)、Shift + スペースなら、上にスクロールです。Windowsキー + M とすると、すべてのウィンドウが最小化されますが(これも後述)、Shift + Windows + M だと最小化されたすべてのウィンドウが元に戻ります。

このように、つかいみちのいろいろある Shiftキーです。試しにちょっと使ってみませんか？